

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(21)番 福山市立箕島小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	知識・技能	思考力・判断力	表現力	自立・共生
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	○多様な視点から情報を収集し、情報を選んで、経験・知識と結びつけて活用することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較・関係付け・分類すること等を通して、協働して課題を解決することができる。	○相手や目的に応じて自分の考えや意見を、三角ロジックを活用して説得することができるように伝えることができる。	○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現し、互いの存在や立場を尊重している。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。

2 授業の現状

- ・自ら学習内容を選択決定し、主体的に学び、学びを深めることができるような指導を工夫する必要がある。
- ・国語科と他教科の学習内容や行事等を関連付けることにより、相手や目的を明確にした学習課題を設定し、必然性をもって学習に取り組ませた。
- ・自分の考えや思いをノートに整理し、それを交流することで、学びの深まりを意識させることができた。

転換

3 めざす授業の姿

- ・学習と社会や自然などを関連付け必然性のある課題設定をした授業(思考力・判断力)
- ・互いの考えを交流する中で多様な価値観を認め合える授業(自立・共生)
- ・書く活動を通して自分の考えを論理的に整理できる授業(知識・技能)(表現力)

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡が残るノート作り、ワークシート作成の研修を行い、全校で方向性を確認する。【知識・技能】【表現力】 ・視点を持って友だちの考えを聞き、自分の考えを見直したり、振り返ったりする機会を確保する。【自立・共生】 ・問題提示の工夫をし、学びを深めることができるよう、自ら学習内容を選択決定させる。【思考力・判断力】 	<ul style="list-style-type: none"> ○6月のノート展覧会で児童に意識付けを行い、ノート作りを工夫した児童が93%となった。 ○視点を持って友だちの意見を聞くことで、自分考えとの相違点をもとに、つなげて発言することを意識させた。 ○学習計画を立てさせることで、自ら学習内容を選択決定できるようになってきた。 △他者の考えをもとに、自分の考えを振り返ったり、新たな考えを思考したりすることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考過程が残るノートづくりを深めさせるために、思考ツールを用いる場を設定する。【知・技】【表】 ・ペア学習・グループ学習において、相手の意見に対して自分の意見は同じか異なるかを先行して発言することを意識して取り組ませる。【自・共】 ・既習と本時の学習内容を明確に区別し、課題を焦点化することで思考のずれを認識させ、解決するための学習計画を立てさせる。【思・判】 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考ツールについて校内で研修を行い、各学年1回ずつ用いる場を設定した。 ○ペア学習・グループ学習において、自分の考えの根拠を示して、相手に意図を正しく伝えようとする意識がはじまった。 ○既習内容や思考とのずれを認識させることで、付けたい力を明確にし、必然性をもって学習に取り組ませた。 △他者の考えをもとに、自分の考えを振り返ったり、新たな考えを思考したりすることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールについて知り、練習する場を設け、児童が選んで活用できるような土台づくりを図る。【知・技】【表】 ・ペア学習・グループ学習において、交流の視点を明確にし、自分の考えと比較しながら聞くことで、自分の考えを深めさせる。【自・共】 ・学習の目的意識や相手意識を明確にし、課題解決する必然性をもたせる学習を充実させる。【思・判】 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールを使用することによって、自己の考えや学習方法を選択したり決定したりするよさを実感しながら学ぶことができた。 ・必然性を感じさせた上で、主体的にペア学習・グループ学習を行うことで、視点もお互いに交流し考えを深めることができた。 ・子ども主体の学習計画を立てさせることで、自己の目標をもって学習を進めることができた。 △自己の目的に合った思考ツールの選択・決定をする。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

国語	67(1)
算数	66(△2)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)

項目	肯定的評価
学校へ行くのは楽しい	75
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	75
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	92
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	83

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%)

(2)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 21/48	目標:新体力テストの広島県平均値かつ全国平均値以上の項目を全体の75%以上。 結果:56.3% (男子44%,女子69%)	男子:「握力」については、5つの学年が平均値を下回った。また、「俊敏性」「巧緻性」「瞬発力」に課題が見られる。	・体育授業のサーキットに引き続き取り組むとともに、体力アップ週間を設け、ハンドグリップ等の握力を向上させる運動に取り組む。
(女子) 34/48		女子:「握力」については、4つの学年が平均値を下回った。「スピード」に課題が見られる。	・「俊敏性」「スピード」を高める新たな遊びを紹介し、休憩時間に取り組ませる。
目標値	新体力テストの広島県平均値かつ全国平均値以上の項目を全体の75%以上にする。		

改善する取組内容・方法

- ・「俊敏性」「スピード」を高める新たな遊びを紹介し、休憩時間に取り組ませる。
- ・全校外遊び週間を設定し、体力を高める遊びをレクリエーションとして行う。

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート(%)

(1)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	86	14
自分の考えは、認められている	88	12